

東北芸術工科大学発スタートアップ「株式会社プロテコンサ予防保存」が設立 AI×IoTによる「コンサベーション・テック」で現代アートと文化財の未来を守る

東北芸術工科大学（山形県山形市、学長：中山ダイスケ）は、このたび、本学発スタートアップとして、本学の文化財保存修復領域における専門的知見とマーケティング・新規事業・データ活用マネジメントの専門性を活用した「株式会社プロテコンサ予防保存」（本社：山形県山形市、代表取締役：井戸博章）が、本年 4 月 17 日に設立されたことをお知らせいたします。

同社は、科学技術振興機構（以下、JST）が実施する大学発新産業創出プログラムの採択事業である「みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム（以下、MASP）」（主幹校：東北大学）による支援を受けて設立されました。MASP のホームページ上でも 8 月 20 日付で本件情報が公開されております。

<https://michinoku-academia-startup.jp/consarta-art-yamagata/>

■背景と事業化のねらい

従来の文化財管理は「傷んでから修復する」アプローチが主流であり、高度な環境モニタリング装置の導入には高額なコストがかかるため、地方の美術館や自治体、個人コレクターへの普及には課題がありました。

本学が長年蓄積してきた保存科学の知見・モニタリング手法に、マーケティングやデータ活用の専門性を掛け合わせることで、圧倒的な低コスト化と高度な客観的診断を両立する予防保存システムの社会実装を実現しました。

■コア技術・サービス「CONSARTA（コンサルタ）」の特徴

- ・非破壊での遠隔モニタリングと「デジタル健康記録」の発行
汎用 IoT センサーで展示・保管空間の環境データ（温度・湿度・照度等）を常時監視しつつ、画像分析（色差分析）や近赤外線（NIR）輝度分析を融合。作品に触れることなく、微細な劣化の予兆を早期検知し、客観的な「修復カルテ」として可視化します。



※IoT センサー（モック）

- ・「修復」から「予防保存」への転換と社会実装
低コスト化により、予算の限られた地方自治体や小規模ミュージアム等でも導入可能なシステムを提供します。
- ・アート資産の新たな評価基準の創出
「適切な予防保存環境が維持されている」という客観的データの提供を通じ、美術品損害保険の料率最適化やアート市場における資産価値の保全・信頼性向上に寄与します。

■代表者コメント（株式会社プロテコンサ予防保存 代表取締役 井戸 博章）



「現代アートをはじめとする文化的資産は、100年後の未来へ今を届けるための人類共通の財産です。私たちは、伝統的な修復技術に AI や IoT などのデジタル技術を融合させることで、これまで専門的・高コストであった『保存修復』を誰もが活用できるインフラへと進化させます。大学発の確かな知見を糧に、山形から世界のアート・文化財シーンに革新をもたらし、美と文化が持続可能に循環する社会の実現に貢献してまいります。」

■設立会社概要

会社名：株式会社プロテコンサ予防保存

代表者：代表取締役 井戸 博章（イド ヒロアキ）

所在地：山形県山形市城南町一丁目 1 番 1 号 霞城セントラル 2F

スタートアップステーション・ジョージ山形 内

設立日：2026 年 4 月 17 日

公式 Web サイト：<https://consarta.jp/>

主な事業内容：

- ・文化財およびアートの遠隔予防保存モニタリングシステム「CONSARTA」の運営・「デジタル健康記録」の発行
- ・現代アート・文化財の予防保存コンサルティング（梱包・輸送・保管環境のアドバイス）
- ・アクティブラーニング等を用いた臨床的判断力を有する専門人材育成・研修

<本件に関するお問い合わせ先>

■事業・サービスに関するお問い合わせ

株式会社プロテコンサ予防保存

代表取締役 井戸 博章 E-mail：info@consarta.jp

■大学・研究・産学連携に関するお問い合わせ

東北芸術工科大学 デザイン工学部教授、イノベーション&コミュニケーション研究所所長

関 良樹 E-mail：iclab@tuad.ac.jp

■報道・取材に関するお問い合わせ

東北芸術工科大学 法人企画広報課

E-mail：public@aga.tuad.ac.jp

TEL：023-627-2246